

●とびつくす●

男女参画委員会 令和元年度 最後の勉強会

湯村 美保

何年前か十数年前だったか忘れてしまいましたが、『阿波のまちなみ研究会』のお手伝いをしたことがあります。建築士会に入りたての頃で右も左も分からない状況でのお誘いで、たまには長いものには巻かれてみよう的な感覚で参加しました。確か那賀町辺りに行ったような気がします。

車に揺られて車酔いなのか二日酔いなのか分からない状態で、見ず知らずの他人の座敷にズカズカ上り間取りを方眼用紙に描きとめました。移動中に車を止めて誰かがマムシを捕まえるというイベントもあり、『阿波のまちなみ研究会』は恐ろしい研究会だなあとその時は思いました。今回の勉強会で『阿波のまちなみ探訪』（建築士会販売1500円）という図書をご説明いただき、徳島県内にはこんなにも沢山の素晴らしい建築物があるのかと改めて見せつけられました。これも『阿波のまちなみ研究会』がなければできないことで、マムシ酒を飲みながら素晴らしい功績を残されてきたのだなあとと思います。これからも『阿波のまちなみ研究会』が末永く存続するよう、そして徳島県建築士会の方々が後世に名を残すような素晴らしいまちなみの建築物ができるよう心から願っております。



●地域貢献活動報告●

『LED ペットボトル～イルミネーション～』

北島町立北島南幼稚園

令和元年12月18日(水)～12月20日(金)に、北島南幼稚園2階リズム室にて、LEDペットボトルのイルミネーションイベントを行いました。

夕方17:30～18:45の間、2階リズム室の電気を消し、LEDライトを点灯させ、音楽あり♪子供たちの作品あり♪といつものリズム室とは違った雰囲気の中でのイベントとなりました。この3日間、たくさんの保護者の方、おじいちゃん、おばあちゃんが来園されました。

LEDのペットボトルの中には、子供たちが一生懸命描いた絵が入っています。「私のは、どこにあるかな～」とわくわくドキドキしながら、お家の方と一緒にペットボトルを探す子供たち。「あった！見て！見て！すごく

きれい～！」と感動している様子でした。

「きれいなイルミネーションや子供たちの作品、音楽もあって、いい雰囲気ですね！」「イルミネーションが今の時期にピッタリでとても素敵ですね！」「ペットボトルでLEDのイルミネーションができるんですね！」等の保護者の方からたくさんの声が聞かれました！

LEDイルミネーションは令和2年3月10日迄本園の遊戯室・ホールに設置してあり子供たちが毎日楽しんでいました。設置をしてくださった徳島県建築士会LEDクラブと井上建設さんの皆様、本当にありがとうございました！！



●アルプス便り●

スイスの屋根

徳島地域会 喜島 政行

日本の屋根といえば日本アルプスですが、スイスの屋根といえば、写真のような石板葺きの屋根です。このような屋根が古い民家の大半を占めています。古い建物だけではなく最近できたような山荘も、おそらく伝統的な意匠をとって、同じような屋根をしています。



名峰ドム（4,545m）を望むサースフェーという町には、18世紀の古い穀物倉庫が保存されていて、これらの屋根も同じです。この古い穀物倉庫には土台と基礎の間に直径1メートル弱の石の円盤が挟まれていて、これがネズミ返しの役割をしていたようです。この石の円盤も屋根と同じ材料を使っているものと思われます。



ネズミ返し

薄い石板は天然スレートなのでしょうか？天然スレートは神戸異人館の「ウロコの家」の外壁で有名です。先端を半円形に加工した天然スレートは、表面もすべすべしてあってまるで工芸品のようですが、これも昔はスイスのようにゴツゴツしていたのかも知れません。



ウロコの家

さて、種明かしをすると、スイスの屋根は天然スレートに用いる粘板岩ではなく、鉄平石（てっぺいせき）というものだそうです。

これはマッターホルンの麓をハイキングしている時に山岳ガイドから偶然教わりました。山腹に露出している岩石の層を見つけて、

「これは鉄平石というもので、雲母のように薄く剥がれることから、屋根に使ったものがスイスの多くの民家に見られます」と解説してくれました。

スイスに来てからずっと、沿道に頻繁に見かける屋根の石材は一体何だろうと気になっていたのですが、突然目の前にその岩盤が現れたのには驚きました。

ちなみに、山岳ガイドは日本人で、30歳くらいの女性でした。日本でアルバイトをしてはスイスに飛んできて山に登っているのだそうです。ぽっちゃりとして良く日焼けした可愛い人でした。

マッターホルンのハイキング中にもう一つ大きな岩の層が露出していて、これが何と緑色片岩の層でした。徳島でもお馴染みの青石です。マッターホルンの麓にも青石があるのには驚きました。



マッターホルン



鉄平石の層



青石の層

でもこの辺りの民家やホテルでは、青石を建築材料として使っている様子は見られませんでした。墓地も見ましたが青石はなかったようです。青石は無用の石と思われるのかも知れませんが、こちらで青石の使い方をレクチャーすればひょっとしたら一儲けできるかも知れません。

なお、こうした石板葺きの屋根はスイス南部の地域に限られ、スイスの北部では赤い瓦が多く見られました。



スイス南部の屋根

●地域会だより●

建築士会カート走行会

青年委員会 竹内 祐輔

川島地域会では吉野川市美郷の「徳島カートランド」でレンタルカートによる走行会を開催しています。

この始まりは平成30年度の中四国若手建築志（士）交流会 in ひろしまに参加したことです。

それまではカートに乗ったことはなかったのですがレースゲームは好きで興味があったのでもう楽しんでしていました。

実際走ってみるとスピード感もあり抜きつ抜かれつのレースで熱くなってしまいました。レース結果も徳島県は優勝を勝ち取ることができ、帰りの車内ではカートの話題で持ちきりでした。



若手建築志交流会 in ひろしま ウイニングラン

この時に徳島県には吉野川市に徳島カートランドがあることを知り、いつか走行会をできたらいいなと考えていました。

それから1年ほどたち建築士会の県内交流会が川島地域会で開かれることとなっていたので交流会でやってみようと思い立ち、参加者をくじ引きで組み分けをするチーム対抗タイムアタックレースを企画しました。



平成 31 年度県内交流会



ジムカーナ同乗走行体験

交流会を開催した徳島カートランドでは1年に数回、「GOGOカートレース」という4時間耐久レースが行われています。そして次回開催の耐久レースに建築士会として1チーム招待していただきました。それに向けて毎月1回夜に練習走行会を行っています。

交流会に参加してまたカートに乗りたい。乗ったことはないけど興味がある。レースに参加したい。と興味のある方、一緒にカート乗りませんか。

地域会に関係なく参加メンバー、募集中です！

川島地域会 竹内 祐輔までご連絡ください。

メールアドレス：mog1106@yahoo.co.jp



若手建築志交流会 in ひろしま 表彰式

●あなたが出番●

八万南シバザクラ、全開・満開・爽快！

小松島・勝浦地域会 庄野 章夫

あれはちょうど、10年前の2010年。記録的に暑い夏で、10月に入ってからも30度オーバーが続く年だった。

長女が5年生で、長男が2年生。運動会が近づくお彼岸の頃、敬老の日と秋分の日と日曜日が連なって、世の中は4連休。当時は午前中は店を開けていたので、午後から4日連続で草刈り機を持って、八万南小学校の南隣りの土手に向かった。ススキ・イタドリ・セイタカアワダチソウが伸び放題で、運動会のグラウンドから見えるであろう風景の醜悪さが自分を駆り立てた。毎日、全身濡れてないところがないくらいに汗だくになった。途中で「何のためにやっているんだろう？」とフラつきながらも刈った草の片付けまで全部一人でやって、その年は自己満足に浸った。

それでも翌年、同じように生えてくる雑草の逞しさと、社内事情が急変したのが理由で、足が向かなくなった。それから時が過ぎ、2013年。何のご縁か、PTA会長になって校長先生と話してたら、「最近また土手の草を自発的に刈ってくださっている方がいる」と聞いたものの「自分以外にも奇特な方が居るんだな」と軽く流していた。

間もなくその奇特な方が、自分の実の叔父の(株)フジみらいの江崎社長（現会長）だと判明してしまった。

お互いの奇特的DNAが引き付ける不思議なご縁に、感心しつつもこの後に降ってくるであろう大任を覚悟した。

実際に叔父貴が本腰入れて動き出すと、自分の時の数十倍のパワーで一気に景色を変えていった。

元々、自社が設計した橋梁の草を取り除いていくボランティア活動をしていて、20名近くの気の置けない仲間がいた。さらに息子・娘・その配偶者たちや孫までの一族総動員で、半日で300m以上あるであろう小学校に面した土手の端から端までの雑草・雑木が取り除かれた。

フジみらい社の方で用意してくれていた、一番厚いタイプの防草シートが全面に敷き詰められてピン留めして、シバザクラの株を植えるところだけ十文字にカッターを入れて、掘り下げて植え込んでいった。

その次の月から、第1日曜日は雨が降らない限りこの時のメンバーのうちの有志が土手の斜面で作業を続けていた。

そして迎えた翌年の春。土手一面のピンクや白、赤や紫のシバザクラが新入生を出迎えてくれた。

そこに来た誰もが目を見張った。

すでに散ってしまった桜の代わりに、ここをバックに記念撮影する親子が予想以上に多かった。

陽光に照らされたシバザクラは、それだけで1枚の絵画のようで、かつての雑草だらけを知っているだけに感慨深い。でもこの時、綺麗なものを作り上げるよりも、それを維持管理し続ける方が難しいということに気付いている者は少なかった。一種の達成感と共に、燃え尽き感も襲ってきた。

翌月からのメンテナンス参加者は、自分も含め少しずつ減少していったが、会のリーダーである江崎社長は、特にそのことについても言及したりせず、たまにでも来てくれる人を笑顔で迎え冗談を言い合いながら、明るい空気を作っていた。本人曰く、「来てくれるだけで、ありがたいでないか」。

ボランティア活動が長続きするには、リーダーの気の長い大らかな肚づもりが必要なんと、目の前で見せてもらえた。それからずっと、毎月第一日曜日には「八万花いっぱい会」のメンバーが、雑草と格闘したり新たに株を植えたりといった地道な活動で、綺麗な状態をキープし続けてくれていた。

ある時からPTAの役員さんや保護者の方が、一緒に参加してくれるようになって、学校を巻き込んだ活動になっていく。校長先生や教頭先生も、休日にも関わらず早朝から軍手をはめて待っていてくれた。

そうすると、何が起こったのか。

既存のメンバーのモチベーションが、急勾配で上昇し始めた。直接、先生方や保護者、時には児童までが「キレイにしてくれてありがと」なんて言ってくれたりするモンだから、嬉しくなって参加率だけでなく、作業中の動き方までが向上していった。みんなの喜ぶ顔が見たいという目的に、アップデートされたのを肌で感じた。

それから毎年、春を彩ってくれている。報われるなあ。



従弟（江崎現社長）と共に、引き継いで行きますね。

●士会だより—徳島県●

「徳島県開発許可の手引」及び「開発許可等申請書の審査マニュアル」の改定について

県土整備部都市計画課からのご案内です。
詳しくは徳島県のホームページをご覧ください。

●士会だより—徳島県●

徳島県開発審査会に係る申請書類の締切について

- 第265回 5月1日(金)
- 第266回 7月7日(火)
- 第267回 9月7日(月)

なお、これは徳島県東部県土整備局の受付期限です。
徳島市、阿南市分については、それぞれの市にお問い合わせください。

●士会だより—本部●

監理技術者講習受講のご案内

受講申込手続きがますます便利になりました。
・顔写真の提出が不要に
・WEB申込みの場合、クレジットカード決済、コンビニ払いができるようになり、忙しい方でも、すぐに受講申込手続きができるようになりました。
詳しくは、日本建築士会連合会のホームページをご覧ください。

■講習会開催日時

- 7月9日(木)
- 10月7日(水)
- 令和3年1月21日(木)

- 受付 9:00～
- 運営説明 9:20～9:30
- 講習 9:30～16:50
- 会場 (公社) 徳島県建築士会 会議室
- 定員 各回とも20名
- 受講料 WEB申込みの場合 9,500円
郵送の場合 10,000円
- ※申込締切は講習日の7日前まで

●士会だより—本部●

「首里城再建支援金」口座開設のご案内

日本建築士会連合会からのご案内です。
さて、過日発生した首里城の火災におきましては、主要な建物が全焼し、琉球王国時代から伝わる貴重な収蔵品の多くが焼けるという大規模な惨事となりましたが、現在、沖縄県内ではあらゆる機関で首里城再建のための募金活動が行われていることから、この度沖縄県建築士会におかれましても、「首里城再建支援金」口座を開設されました。
そこで、その旨本会のHPに「首里城再建支援金」と見出しを付けて支援金専用口座を開設致しましたので、少しでも多くの募金が集まるようご協力をお願い申し上げます。

※次回編集会議は5月21日(木) 16:30から

編集後記

- ・はるですね (ちりめん)
- ・夏が来ますよ。 (ぺべい)
- ・黄砂も凄いです。 (ひとはたうさぎ)
- ・遅れました。すみません… (酎西)

建築士会本部行事案内

令和2年5月		令和2年6月	
7日(木) 常任理事会	(士会会議室)	10日(木) 住宅相談	(士会会議室)
12日(火) 監査・理事会	(士会会議室)	17日(木) 住宅相談員会議(セピア)	(士会会議室)
13日(水) 住宅相談	(士会会議室)	24日(木) 住宅相談	(士会会議室)
20日(火) 住宅相談員会議(セピア)	(士会会議室)		
27日(水) 住宅相談	(士会会議室)		
30日(土) 本部総会	(建設センター)		

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午前10時から午後4時まで実施しています。
※ 住宅相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。